

2019_0626~0628 日本睡眠学会第44回定期学術集会

睡眠遠隔医療学 「SAS検診におけるオンライン医療相談」

日本睡眠学会第44回定期学術集会 THE 44TH ANNUAL MEETING OF JAPANESE SOCIETY OF SLEEP RESEARCH

S23-3 SAS 検診におけるオンライン医療相談

○吉嶺 裕之
社会医療法人春回会井上病院

昨今の日本における交通事故のうち、職業ドライバーの事故が問題となっている。その一因として、睡眠時無呼吸症候群（以下、SAS）が関与する居眠り運転や突然の心血管イベントの発生が予測される。これらの対策としてSASのスクリーニング、精密検査の実施、CPAPを始めとした治療導入が有効と予測されるが、実際には決して十分なアウトカムが得られているとは言えない。その要因として運転手がSASに関する知識が十分でないこと、医療機関へのアクセスが困難であること、検査・治療にかかる経済的な問題などが挙げられる。

今回私共は、運輸関係職業ドライバーを対象としたSAS検診においてオンライン医療相談を導入し、その有用性を検証した。すなわちパルスオキシメーターなどによるスクリーニングを実施し、「要精密検査」と判断した対象者にオンライン診療システムを用いて、一般的な検査結果の見方、精密検査や治療法について解説した。被験者に対してオンライン医療相談を実施による受診意欲の変化、精密検査に対する考えなどを調査するとともに、精密検査実施数、治療導入者数などについても評価を行った。

オンラインによるSASの検査や治療に対する説明は、対象者の疾患や治療に対する理解および精密検査への受診意欲を増す結果となった。一方、精密検査を受けるか否か、SASに対する治療を受けるか否かは、経済的要因や自己効力感が大きいと思われた。

職業ドライバーにおけるSASによる事故撲滅のためには、SASスクリーニング方法の改善や企業や国を上げての対策が求められる。